

カナダ金融政策（2022年1月）

利上げ開始に向けた最後の地ならし

2022年1月27日

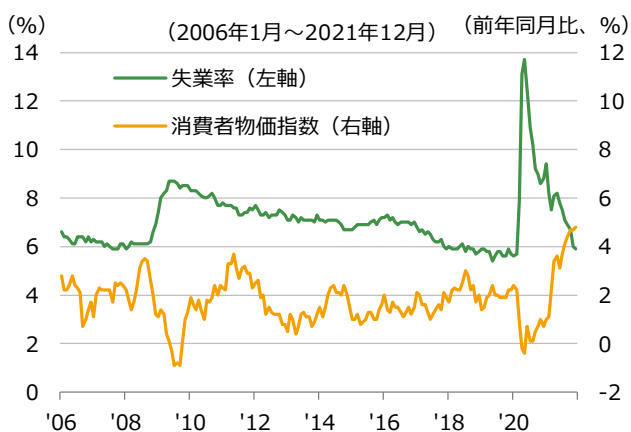
近い将来の利上げ開始とその後のバランスシート縮小を示唆

カナダ銀行は1月26日（現地）に金融政策決定会合を開催し、政策金利を0.25%に据え置くことを決定しました。市場参加者の間では据え置きと利上げの予想が分かれていたため、発表後に金利低下・通貨安の反応となりましたが、近い将来の利上げが示唆されたこともあり、大きな動きとはなりません。

同行はこれまで、政策金利に係るフォワードガイダンスを「経済の弛みが吸収されるまで利上げしない」とし、昨年10月時点ではこの条件が満たされる時期を「2022年4月～9月」と想定していました。しかし、昨年後半の景気回復が予想を上回ったことなどから、「経済の全体的な弛みは吸収された」との見解を示し、今回の声明文では上記のフォワードガイダンスを削除しました。新たに、「今後は利上げする必要があると予想しており、そのタイミングとペースは2%のインフレ目標を達成するというカナダ銀行のコミットメントに導かれる」との文言を追加し、近い将来の利上げ開始を示唆しました。マクレム総裁は会見で、今回の会合で利上げを見送った理由として、新型コロナウイルスのオミクロン株による急速な感染拡大が経済に与える影響を挙げました。ただし、その影響は以前の波より深刻でないとの見方も示したことに加え、足元では新規感染者数が急速に減少しているため、この傾向が続けば3月初旬の次回会合で利上げを決定する可能性が濃厚になると考えられます。

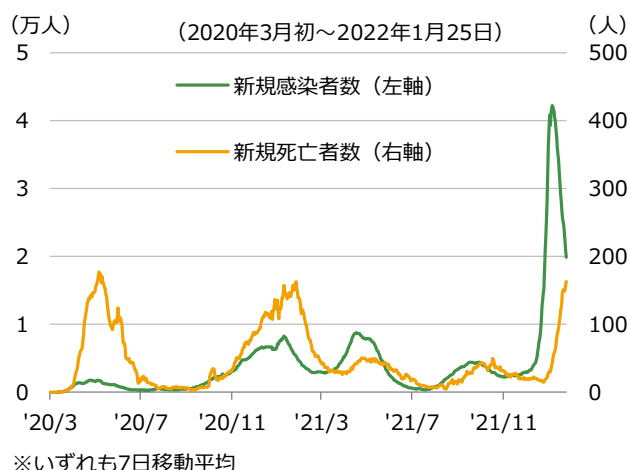
また、バランスシート縮小については初回利上げの後に詳細を検討する旨が声明文に明記されました。新型コロナウイルス問題に対応するために実施された未曾有の金融緩和からの出口が近づいています。

カナダの失業率と消費者物価指数



（出所）カナダ統計局

カナダの新型コロナウイルス感染状況



（出所）カナダ政府より大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management